

令和2年3月12日

## 静岡県清水港湾交流センター等指定管理者 日の出ドリームパーク 令和元年度年間評価結果

静岡県清水港湾交流センター等指定管理者評価委員会  
会長 関 いずみ

以下のとおり年間評価を報告する。

- 対象施設** 日の出駐車場、日の出緑地及び遊歩道、待合所、港湾関連団体用業務室、静岡県清水港湾交流センター
- 評価期間** 平成31年4月～令和2年3月（実績見込みを含む）
- 評価日** 令和2年2月12日（水）
- 評価委員**

氏名	役職等
和泉 清明	いずみ公認会計士事務所
鈴木 高美	静岡市経済局海洋文化都市推進本部ウォーターフロント振興担当課長
◎関 いずみ	東海大学海洋学部海洋文明学科教授
中野 民雄	静岡文化芸術大学デザイン学部准教授
藤田 綾子	静岡商工会議所女性会会長

（敬称略、五十音順、◎：委員長）

### 5 評価

#### （1）主な意見

- ・地域と協力・連携した地域資源の見直し、掘り起こしの取組は、相乗効果による地域の発展につながり非常に良い取組である。
- ・利用者満足度向上のため、多目的ホールのプロジェクター、スピーカー等備品について、利用者意見を踏まえ改善が必要。
- ・年々様々な現象が起こり、想定を超える被害が発生していることから、利用者及び職員の命を守る防災対策の見直しを進めること。

#### （2）評定

評価		点数
優	おおいに評価できる	139.5点／150点満点（得点率：93.0%）

## 6 項目別意見

### 総括評価

- ・ 県、大学との連携を図り、インバウンド戦略に積極的に貢献している。
- ・ 利用の幅が広がるほど多様な人々が集まり、施設としての魅力が向上する一方、様々な事態が起こりうることから、きめ細かな対応が必要となってくる。
- ・ 全体としては、適切に運営されている。
- ・ コロナウイルス対策について、関係機関との連携等により適切に対応されたい。

### I 本業務の実施体制

- ・ 関係機関との連携が充分に行われている。
- ・ クレームを正しく処理している。
- ・ 台風対策として、施設の安全対策に関する県との連携・協力、利用者に対する広報等の取組は重要であり、今後も継続して行っていただきたい。

### II イベント等の実施

- ・ 大型イベントの開催と合わせ、商店街との連携などにより、街中へも人を誘導し、回遊できるような仕組みづくりを検討してはどうか。
- ・ 食関連のイベントは集客効率が良いことからイベントが少ない時期にもっと誘致や実施することにより、さらなる賑わい創出につながる取組を望む。

### III 利用促進策

- ・ SNS、ラジオ等の積極的なPRは評価できる。
- ・ 120周年関連イベントにおける県との連携・協力は評価できる。一過性のものとならないよう当該イベントを契機とし、継続的な取組を期待する。

### IV 利用者ニーズの把握とフィードバック

- ・ アンケート収集、警察等との連携等、適切に行われている。
- ・ スケートボード場場の不適正使用について抜本的な対策を講じていただきたい。

### V 安全管理

- ・ 防災訓練、各種訓練が適切に実施されている。
- ・ 来場した市民に対する安全対策の告知について充実を望む。

## <参考> 評価方法

### 1 評価項目

- ・総括目標と5つの分野別目標を設定

区 分		項目数
総括目標	賑わい空間創造等	—
分 野 別 目 標	I 本業務の実施体制	3
	II イベント等の実施	5
	III 利用促進策	3
	IV 利用者ニーズの把握とフィードバック	2
	V 安全対策	2
	計	15

### 2 採 点

- ・各分野の評点項目（計15）ごとに10点満点で採点

点 数	評 価
10	大いに事業計画以上の成果が挙げられている
⋮	⋮
5	概ね事業計画を達成している
⋮	⋮
0	事業計画が達成されていない

- ・各委員の評点合計の平均点をその得点率に応じて4段階で評価

区分	得点率	摘 要
優	最高点(150点)の85%(127.5点)以上	大いに評価できる
良	70%(105点)以上85%(127.5点)未満	評価できる
可	50%(75点)以上70%(105点)未満	普通
要改善	50%(75点)未満	改善を要する